

質 問 書

2020 年 11 月 25 日

「アフリカ地域 CARD 対象国コメ流通等 に係る情報収集・確認調査（一般競争入札（総合評価落札方式）」
（公示日：2020 年 11 月 11 日／調達管理番号：20a00771）

通番号	当該頁項目	質問	回答
11 月 20 日の質問			
1	企画競争説明書_第 2 特記仕様書(14 頁)_6.実施方針及び留意事項(1)団員構成の考え方	「ポルトガル語、アラビア語等英語、仏語以外の資料の分析については、基本的に想定していないものの、翻訳の必要性が認められる場合は、JICA と相談し、必要な支援を得ること。JICA は、在外事務所等を通じた翻訳を行う予定です」とありますが、仏語に関して成果品の品質向上を高めるため、仏語翻訳の経費を見積りに計上することは可能でしょうか。	ドラフトファイナルレポート及びファイナルレポート（成果品）に添付される資料（仏文）を和文/英文から仏語へ翻訳する経費を見積もりに計上することは可能です。
2	企画競争説明書_第 2 特記仕様書(16 頁)_7.調査の内容(5)CARD Web サイト上の情報の整理 1)	当該内容では、CARD Web 上への入力が想定されていますが、「1)」の部分における業務はどの範囲までを想定されていますでしょうか。（例えば、データを作成し、その後の Web への掲載作業は、CARD 事務局が行うのか、あるいはそこまで受注者が行うのか、等）	コメ関連案件や研究事業、研修事業にかかる情報については、所定の様式にオンラインで入力いただくところまでを想定しています。 灌漑スキーム、大規模精米施設、農業機械賃耕サービス拠点にかかる情報については、所定の様式（エクセルファイル）に入力いただくとともにオンライン上の地図にポリゴンを作成いただくところまでを想定

通番号	当該頁項目	質問	回答
			しています。それらの Web への掲載作業は、CARD 事務局で行います。
3	企画競争説明書_第 2 特記仕様書(16 頁)_7.調査の内容(5)CARD Web サイト上の情報の整理 1)	「各施設の境界線を位置上に入力する」とありますが、各施設とは、21 頁目に掲載されている「(5)大規模精米所」が該当するのでしょうか。また、位置上に入力とは、「(5)大規模精米所」の所在場所を地図に落とし込むと言う理解で宜しいでしょうか。	誤記がありました。「位置上に入力」は「地図上に入力」の誤りです。 また、大規模精米所だけでなく、灌漑スキームおよび農業機械賃耕サービスを提供している拠点のポリゴンを地図上に作成していただくことを意図しています。
4	企画競争説明書_第 2 特記仕様書(16 頁)_7.調査の内容(5)CARD Web サイト上の情報の整理 1)	「1)上記(3)で抽出したデータについては、所定の様式(所定の様式に含まれる項目は別添のとおり。)への入力作業を行う。また、各施設の 境界線を位置上に入力する。」とありますが、具体的には、所定の様式に施設の位置や境界線が入力可能という理解でよろしいでしょうか。	上記のとおり、灌漑スキーム、大規模精米施設、農業機械賃耕サービス拠点については、所定の様式(エクセルファイル)への情報入力とは別に、オンライン上の地図にポリゴンを作成いただくことを想定しています。
5	企画競争説明書_第 2 特記仕様書(16 頁)_7.調査の内容(5)CARD Web サイト上の情報の整理 2)	「2)上記(4)における調査を通じて明らかとなった主要国産米の流通経路を CARD Web サイトに示すべく、地図の案を提示する。」とありますが、地図の案とはどのような成果品を想定されていますでしょうか。	地図上に流通経路を矢印で図示したもの(流通量は矢印の太さで示す等)を成果品として想定しています。
6	企画競争説明書_第 2 特記仕様書(18 頁)_別添	SIEM(サブセクター介入要素表)、案件マッピング、ギャップ分析は今回の業務範囲ではないという理解でよろしいでしょうか。	コメ案件マッピング表およびギャップ分析表の作成は今回

通番号	当該頁項目	質問	回答
			の業務の範囲外です。(19 頁の 2 表は参考資料として SIEM の具体例を掲載したものです。)
7	第 2 章 6. 実施方針及び留意事項 (1) 団員構成の考え方 (14 頁)	英語仏語以外の資料翻訳があれば JICA 事務所を通じて翻訳を行うとあるが、分量が多い場合は契約変更での対応も可能か。	英語・仏語以外の資料につき、分量が多いことは想定しておらず、契約変更は想定していません。
8	第 2 章 8. 報告書等 (17 頁)	ドラフトファイナルレポートも簡易製本との理解でよいか。	第 2 章 8. (3) に電子データ (メール添付による提出) とあるとおり、印刷物は不要であり、電子データのみで結構です。
9	第 2 章 8. 報告書等 (17 頁)	ファイナルレポートについて、想定する総ページ数がありましたらご教示いただきたい。	特段の想定総ページ数はありませんが、1 章については、3 ページ程度。2 章はデータの提出が成果品であるとの認識ですので、特段報告書に記載頂くものはないのですが、それぞれの国において、どのようにデータ収集を行ったのかの説明とデータソースがわかるように記載して頂ければ結構です。各国 1 ページ程度を想定しています。(全体で 32 か国 32 ページ程度)。3 章の競争力調査については、前段として全体サマ

通番号	当該頁項目	質問	回答
			リー、その後、国毎に 5~6 ページほどにまとめてください。 (15 か国で、90 ページ程度) によって、全体では 130 ページ程度になると想定しています。
10	第 3 章 2. 技術提案書作成に係る要件・留意事項の(4) (24 頁)	評価対象業務従事者の語学能力が“英語または仏語”となっているが、これは仏語翻訳を妨げるものではないと理解してよいか。	第 3 章 2. (4) は、評価対象業務従事者に求める語学能力を記載したものであり、業務遂行に必要な経費については、見積に計上願います。なお、「英語または仏語」の語学能力を求めていますので、英語のみ/仏語のみの能力を有する業務従事者が、必要に応じ英語⇄仏語の通訳を手配されるのを妨げるものではありません。

以 上